

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業の現状(DOC)

事務事業名	No. 590502	出前スポーツ教室開催事業		主管課名	スポーツ課						
この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名	野々山 茂樹						
	施策	生涯スポーツができ、健康で元気なまち									
	基本事業	健康づくり教室の充実									
(1)事業の概要											
地区体力づくり事業や各種イベント時に、スポーツ推進委員が出向き、スポーツ教室を行う。(ニュースポーツ・レクリエーションスポーツ)誰でも気軽に参加することができる「カローリング交流会」や「レクリエーションスポーツフェスタ」を開催する。				(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ……数値は(9)							
				名 称		単位					
				教室開催回数		回					
				その指標							
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		小中学校PTA、行政区、子ども会などで、カローリングやドッジビーのニュースポーツの教室を開催する。体育指導委員の主管により、5月に「カローリング交流会」、11月に「レクリエーションスポーツフェスタ」を開催する。									
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	590102スポーツ推進委員運営事業に統合された。								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ……数値は(9)							
市民				名 称		単位					
				人口		人					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)				(7)成果指標(意図の達成度を表す指標) ……数値は(9)							
スポーツ活動をしてもらう。				名 称		単位					
				参加者数		人					
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)				(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ……数値は(9)							
日常的にスポーツをし、仲間づくりに取り組んでもらう。				名 称		単位					
				スポーツ教室に参加した人の人数		人					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		回	6	10							
(6)の対象指標		人	58,216	58,762							
(7)の成果指標		人	1,690	825							
(8)の結果の成果指標		人	1,750	3,187							
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	06	目	01
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	172	188	0	0	0	0			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	7	7	0	0	0	0			
	一般財源	千円	165	181	0	0	0	0			
人件費B		千円	237	399	0	0	0	0			
正職員従事時間×人数		時間×人	32 × 2	53 × 2	×	×	×	×			
正職員以外の人件費		千円									
その他費用C		千円		71							
トータルコストA+B+C		千円	409	658	0	0	0	0			
単位あたりコスト		千円/人	0	0							
(トータルコスト		千円/									
/(6)の対象指標)		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	590502	出前スポーツ教室開催事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	かなり前から			出前教室開催の要望は、ほとんどカローリングに限定される。他のニュースポーツについても周知を図っていく。 ニュースポーツを普及していく上では大切な事業である。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
スポーツを通して、仲間との交流ふれあいの場を提供し、心身ともに健全な発育を促進するため。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない				積極的にニュースポーツを取り入れている。
変化している				

3 評価（SEE）	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務	根拠法令	スポーツ基本法	
		この事務を行う根拠又は理由			市民が生涯にわたって仲間といつでも気軽にスポーツに親しむことができる事業として実施する。
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる	拡大	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる	追加	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	理由又は内容	市民からの要望に対応できなくなる	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1- (7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	理由又は内容	多くの市民にPRを行い、教室開催数を増やす	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	庁内事業	類似事業名	スポーツ教室開催事業
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある	内容			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある	内容	スポーツ推進委員で出前教室の対応を行う		
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	現状で適正	内容		

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	低下	
(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	市民全体を対象としているため、これ以上の拡大は見込めないが、出前教室について、広くPR活動を行う。 平成24年度からスポーツ推進委員運営事業と統合。						